
日本放送協会 理事会議事録

(平成31年 3月20日開催分)

平成31年 4月 5日(金)公表

<会議日時>

平成31年 3月20日(水) 午前10時00分～10時20分

<出席者>

上田会長、堂元副会長、木田専務理事、坂本専務理事、
児野専務理事・技師長、松原理事、荒木理事、黄木理事、菅理事、
中田理事、鈴木理事、松坂理事、今井特別主幹
高橋監査委員

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

上田会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

1 審議事項

- (1) 第1326回経営委員会付議事項について
- (2) 特定失踪者問題調査会による八俣送信所の送信設備等の使用の期間延長について

2 報告事項

- (1) 「技研公開2019」について

議事経過

1 審議事項

(1) 第1326回経営委員会付議事項について

(経営企画局)

3月26日に開催される第1326回経営委員会に付議する事項について、審議をお願いします。

付議事項は、議決事項として、「平成31年度暫定収支予算、事業計画及び資金計画の認可申請について」、「中央放送番組審議会委員の委嘱について」、「および「国際放送番組審議会委員の委嘱について」です。また、報告事項として、「平成31年度国際放送等実施要請への回答について」、「地方放送番組審議会委員の委嘱について」、「契約・収納活動の状況(平成31年2月末)」、「平成31年度営業目標値・営業経費計画値について」、「および「2019年度radiko経由のNHKラジオの配信について」です。

(会長) ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

(2) 特定失踪者問題調査会による八俣送信所の送信設備等の使用の期間延長について

(児野専務理事・技師長)

特定失踪者問題調査会(以下、「調査会」)が行う北朝鮮拉致被害者向け短波送信「しおかぜ」のために、KDDIが所有し、NHKが包括的使用権を有する八俣送信所の送信設備等の使用を2007年3月26日から2019年3月31日までの12年にわたり、調査会に認めてきました。引き続き2019年10月27日までの使用を認めることについて、審議をお願いします。

送信設備等を「しおかぜ」に使用させることについては、毎年、国際的に周波数の変更が行われる3月と10月に、NHK、KDDI、調査会の3者の合意に基づき使用期間を延長することによって認めてきました。このほど調査会から、改めて送信設備等の使用期間を延長してほしいとの申し出がありました。NHKの業務に支障はなく、費用負担等も生じないことが確認されたことから、人道上の見地から可能な範囲での協力として、これまでと同様に使用を認めたいと思います。

万一、NHKの業務に支障があるときは、3者で締結した確認書に基づき、NHKはいつでも「しおかぜ」の送信停止を求めることができま

す。これらを担保するための覚書を、あらためて3者で締結することとします。

(会 長) ご意見等がありませんので、原案どおり決定します。

2 報告事項

(1) 「技研公開2019」について

(放送技術研究所)

2019年度の放送技術研究所(以下、「技研」)の公開について報告します。

2019年の技研公開の期間は、5月28日～6月2日です。5月28日にプレスプレビューとオープニングセレモニーを、29日に招待者内覧会を行い、30日～6月2日で一般に公開します。

技研では「3か年計画(2018-2020年度)」として、2030年～2040年頃を想定し、3DテレビやAR・VRによって“表現空間を拡張”したコンテンツ・サービスを提供する技術、「ダイバーシジョン」に向けた研究などを行っています。2019年は、「ワクからはみ出せ、未来のメディア」をテーマに、3DテレビやAR・VRを活用して新しい視聴体験を実現する「リアリティーイメージング」、インターネットを活用してユーザー体験を向上させる「コネクテッドメディア」、AIを活用した番組・制作技術や、障害者を含むあらゆる人にやさしいユニバーサルサービスを拡充させる「スマートプロダクション」の3つの柱から24項目の研究開発成果の展示と4項目の体験型展示を行います。

また、30日には、稲見昌彦氏(東京大学先端科学技術研究センター教授)、塩入諭氏(東北大学電気通信研究所所長・教授)による基調講演のほか、技研の若手職員によるデモンストレーションなどを交えた研究発表「ラボトーク」を6件実施します。

さらに技研講堂の8Kシアターの上映や、技研職員によるガイドツアー、子ども向けイベントなども実施します。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

平成31年 4月 2日

会 長 上 田 良 一